

新潟市の野生メダカの体色変異体の研究

新潟市立万代高等学校 生物・園芸部 ◦高橋慶介・高山拓士・臼木大地

1 目的

新潟市内の野生メダカの体色変異個体にはどのような変異体があるかを明らかにする。

2 調査方法

メダカを採集して体色変異体を採集して記録し、飼育する。現在認定され保存されている系統と形態（鱗の色素胞の分布、体色、その他の記載してある形質）を比較し、交配によって遺伝子の比較を試みた。

3 調査結果

新潟市秋葉区北潟の水田脇の水路に灰色の個体と黄色個体が存在する。

灰色個体の鱗を光学顕微鏡で観察して色素胞の種類と数を調べ、基礎生物研究所の系統と比較した。

黄色個体の鱗を光学顕微鏡で観察して色素胞の種類と数を調べ、基礎研究所の系統と比較した。

4 考察とまとめ

この水路には2種類の鱗の色素細胞の変異体が存在する。系統 Ci と系統 b の遺伝子をもっている。